

5. 交通事業者ヒアリング調査

1) 調査の実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、公共交通の運行実態や安全確保に関する問題点を抽出するとともに、運行改善に係るアイデアを把握することを目的とします。

(2) 調査対象、調査方法及び調査時期

項目	内容
調査対象	小牧市内に営業所のある交通事業者（全7事業者） 鉄道事業者：名古屋鉄道株式会社 バス事業者：名鉄バス株式会社、あおい交通株式会社 タクシー事業者：あおい交通株式会社、小牧タクシー株式会社、まるは福祉&介護タクシー、名鉄西部交通株式会社
調査方法	調査員による聞き取り
調査時期	平成28年10月～11月

2) 調査結果のまとめ

本調査における調査結果をまとめます。

質問内容	意見
<p>運行上の問題点や改善に向けた提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの事業者も安全性を重視した運行を行っている。 ・特定の道路区間の整備、信号制御の改良、交通対策の実施、道路渋滞による遅延等に対する意見が挙げられた。 ・利用者数の減少やこまき巡回バスへの利用転換を危惧している意見が挙げられた。 ・タクシーの乗降場の整備、悪天候時の運行、路上駐車対策に関する意見が挙げられた。 ・主要施設内のバリアフリー対策に関する意見が挙げられた。
<p>利用者や沿線住民の方々から聞かれるご意見、ご意向など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー整備の要望が多く、整備済みの駅では利用者が増えている。 ・駅へのトイレや駐輪場整備の要望もある。 ・渋滞によるバスの遅延や特定区間の渋滞に関する意見が多い。 ・小牧駅バスターミナルに隣接する広場の夜間対策や駐車場の改善を求める意見がある。 ・特定路線のルートや運行本数に関する意見がある。 ・タクシー料金やタクシー券の制度改善を求める意見が多い。
<p>公共交通の維持活性化のために、取り組んでいる事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の運行ダイヤを守ることや路線を維持することが最も重要とする意見が挙げられた。 ・デスティネーションキャンペーン、幼稚園児を対象とした継続的な啓蒙活動、バス停や待合環境の整備・改善、バス運行状況の提供、ICカードの導入、乗継割引、高頻度利用者への優遇、昼間の時間帯に大学輸送等様々な取り組みを実施している。
<p>福祉的なサービスとして、取り組んでいる事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉対応車両を導入している事業者もあるが、料金設定が高いため利用者は少ない。 ・複数の事業者の自己負担で福祉割引を実施している。 ・福祉的なサービスを中心としている事業者もある。
<p>公共交通全体の利便性を高めるために、今後取り組みが必要と思われることや、小牧市や地域との係わりに関するご提案 (1/2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、バスを含めた時刻検索ができるようになると、便利になるとの意見が挙げられた。 ・信長夜会などの地域のお祭りや小牧山には魅力があり、観光客の誘致を小牧市と一緒にやっていきたいという意見が挙げられた。 ・拠点となる公共施設等での交通ターミナル（小牧駅、小牧市民病院、小牧市役所、桃花台センター、桃花台東(中央道桃花台)、大型商業施設)の整備、渋滞多発地点の整備、バス専用レーンの設置などの道路環境の整備を求める意見が挙げられた。 ・小学生や高齢者向けの「バスの乗り方教室」「交通安全教室」の実施や地域の祭事・イベントでの車両展示・乗車体験を連携していきたいという意見が挙げられた。

質問内容	意見
<p>公共交通全体の利便性を高めるために、今後取り組みが必要と思われることや、小牧市や地域との係わりに関するご提案 (2/2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICカードを導入したいが、資金的に困難な状況であるが、現在の運賃の安さは強みのひとつとする意見が挙げられた。 ・小牧山、豊山町のMRJのミュージアム、中央道のサービスエリア整備の構想などの活用により、観光目的の利用者も増やしたいという意見が挙げられた。 ・小牧駅におかげ横丁のようなものを整備するなど小牧駅に行きたいと思わせる仕掛けができるとよいという意見が挙げられた。 ・デマンド交通をやるのであれば、民間ではなく行政が中心となって進めるべきであるという意見が挙げられた。 ・タクシー券の枚数を増やしてほしいという意見が挙げられた。 ・巡回バスを利用しにくい方が、タクシーを利用しやすいようにすることが必要であり、タクシー券の配布を拡大していただけるとありがたいという意見が挙げられた。 ・交通結節点での乗り継ぎ利便性が重要になる。小牧駅ではバスから遠いなど、乗り継ぎの障壁をなくすことが必要という意見が挙げられた。 ・企業の通勤や業務目的で、比較的少人数の需要に対応する車両を企業と契約して運行している。予約もあれば定期便もある。ぜひタクシーも公共交通の一つとして考えてほしいという意見が挙げられた。 ・福祉タクシーを救急車の代替手段として利用できることが周知されていないので、周知してほしいという意見が挙げられた。 ・国からだけでなく市からも車両導入時の事業者向けの支援がほしいという意見が挙げられた。 ・市民、障がい者、交通事業者、福祉団体、行政といったいろんな立場の人が集まって議論する場がほしいという意見が挙げられた。 ・タクシー営業が成り立っている地域にデマンド交通や乗合タクシーを導入しても利用が限定的である。個別輸送としてタクシーを活用してほしいという意見が挙げられた。 ・公共施設などには、いろんなタクシー会社が区別なく入れる乗降場をつくってほしい。決まった乗降場があればタクシーの待機やタクシー利用の情報提供がしやすくなるという意見が挙げられた。 ・タクシーとバスの住み分けをよく検討してほしいという意見が挙げられた。 ・タクシー券は、枚数が決まっており、もっとタクシーを利用したい人がいれば、タクシー券が余っている人もいる。タクシー券の販売も一つの方法であるという意見が挙げられた。 ・タクシーの試乗会は効果があるため、市と相談しながら実施できるといいという意見が挙げられた。

6. 公共交通地域懇談会

1) 公共交通地域懇談会の実施概要

(1) 公共交通地域懇談会の目的

小牧市地域公共交通網形成計画の策定にあたり、市内の公共交通に対するニーズの確認や、公共交通の利用促進に関するアイデア等を把握します。

(2) 開催概要及び開催結果

日時		参加人数	場所	対象地区
平成28年11月13日(日)	10:00～	7人	ふらっとみなみ講堂	小牧南地区
平成28年11月13日(日)	14:00～	3人	小牧市役所東庁舎大会議室	小牧地区
平成28年11月23日(祝)	10:00～	12人	北里市民センター講堂	北里地区
平成28年11月23日(祝)	14:00～	15人	ゆう友せいぶ講堂	巾下地区
平成28年11月26日(土)	10:00～	53人	味岡市民センター講堂	味岡地区
平成28年11月26日(土)	14:00～	25人	東部市民センター講堂	篠岡地区

(3) 実施要領

例) 小牧南地区

公共交通地域懇談会

小牧南地区
場所 ふらっとみなみ講堂
平成 28 年 11 月 13 日

《公共交通地域懇談会の目的》

○小牧市内の交通環境は、ピーチライナーの廃止や、それに代わるバスの運行、こまき巡回バスの再編などによって、大きく変化しました。さらに、超高齢社会の到来や人口減少など、まちづくりの課題に対する早急な対策が求められています。これらの変化や課題へ対応するため、現在小牧市では「小牧市地域公共交通網形成計画」の策定を進めています。

○そこで、皆さま自身またはお知り合いで移動する際に困っている方の、日常の移動の実態や問題点を整理し、その解決に向けて、公共交通について地域の皆さまと一緒に考えていく必要があると考えております。

○つきましては、『より良い公共交通について皆さまと一緒に考える』場として、本懇談会を開催させていただきます。



《本日のテーマ》

①市内公共交通ネットワークの現状と市民ニーズについて知ろう！

②皆が利用しやすい公共交通のアイデアを考えよう！

○まず、小牧市の公共交通の現状と、皆さんがお住まいの地域の特徴について、利用実態やアンケート調査を基に説明させていただきます。

○現状を皆さんにご理解いただいた上で、市内公共交通の利用で困っていることを整理した後に、ネットワーク形成の視点から皆が利用しやすい公共交通のアイデアをお伺いします。

公共交通地域懇談会の進め方

1. 開会 10:00～10:05【約5分】

- ▶ 公共交通地域懇談会の目的について
- ▶ 本日のテーマと進め方について

2. 市内公共交通ネットワークの現状と市民ニーズについて知ろう！ 10:05～10:35【約30分】

memo



3. 皆が利用しやすい公共交通のアイデアを考えよう！ 10:35～11:35【約60分】

- ▶ 各班に分かれていただき、グループワークを開始します。
- ▶ ご意見をカードに書いていただく際のルールを説明します。
- ▶ 『普段お出かけする際に困っていること』や、ネットワーク形成の視点から『皆が利用しやすい公共交通のアイデア』をカードに記入していただきます。
- ▶ ご記入いただいたカードを分類し、皆さんのご意見を整理します。

4. 各班の成果を共有しよう！ 11:35～11:50【約15分】

- ▶ 各班の成果を代表者の方より発表していただきます。（各班約5分）

5. 講評 11:50～11:55【約5分】

- ▶ 本日のまとめ

6. 閉会 11:55～12:00【約5分】

- ▶ 今後の予定等

※時間は目安です

(4) 配布資料

例) 小牧南地区 (※実施要領を除く)

資料 1

小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る 公共交通地域懇談会



平成28年 11月13日 小牧南地区

公共交通地域懇談会の目的と位置づけ

公共交通地域懇談会の目的

小牧市地域公共交通網形成計画の策定にあたり、市民の皆様が公共交通に対するニーズの確認や、公共交通の利用促進に関するアイデア等を把握する。

地域公共交通網形成計画とは

「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすもので、地域公共交通の現状・問題点、課題の整理を踏まえて、公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり、持続させることを目的に、地域全体の公共交通の在り方、住民・交通事業者・行政の役割を定める。

公共交通地域懇談会の目的と位置づけ

小牧市地域公共交通網形成計画策定の背景

小牧市総合交通計画(平成22~32年度)

【公共交通に関する取組み】

- 中央道桜花台バス停留ロータリーの整備
- こまき巡回バスの再編

【交通を取り巻く潮流の変化】

- 本格的な人口減少時代の到来
- ノーマライゼーションの理念の浸透

【まちづくりに関する取組み】

- 都市計画マスタープラン中間見直し
- 立地適正化計画の策定

【国の動向】

- 交通政策基本法の制定
- 地域公共交通活性化再生法の改正

小牧市地域公共交通網形成計画

公共交通地域懇談会の目的と位置づけ

小牧市地域公共交通会議

- 自治体、交通事業者、住民、学識経験者、関係者等が小牧市地域公共交通網形成計画策定に向けた協議を行う。

小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る各種調査

- 市民アンケート調査
- バス利用者ヒアリング・アンケート調査
- 中央道桜花台バス停留者調査
- 企業アンケート調査
- 教育機関アンケート調査

公共交通地域懇談会(本日)

市民目線から見た公共交通の利用促進に関するアイデア等
⇒『より良い公共交通について皆さまと一緒に考える』場

小牧市地域公共交通網形成計画

- 小牧市総合交通計画の内容をベースとしながら、まちづくり、観光振興、福祉施策と連携し、持続可能な公共交通ネットワークを形成するための計画を策定する。

■本日のテーマ

①市内公共交通ネットワークの現状と市民ニーズについて知ろう!

②皆が利用しやすい公共交通のアイデアを考えよう!

■公共交通地域懇談会の進め方

1. 開会	公共交通地域懇談会の目的と位置づけについて 本日のテーマと進め方について	【約5分】
2. 市内公共交通ネットワークの現状と各種ニーズ調査結果について	市内公共交通ネットワークの現状について 各種ニーズ調査結果概要について	【約30分】
3. グループワーク	『普段お出かけする際に困っていること』 『皆が利用しやすい公共交通のアイデア』	【約60分】
4. 発表	各班の成果発表	【約15分】
5. 講評	本日のまとめ	【約5分】
6. 閉会	今後の予定等	【約5分】

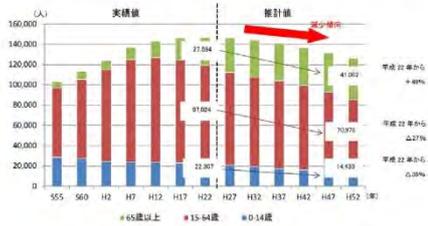
資料2
小牧市地域公共交通網形成計画策定に係る
公共交通地域懇談会
～市内公共交通ネットワークの現状と
各種ニーズ調査結果について～



平成28年 11月13日 小牧南地区

■人口の動向と今後の予測

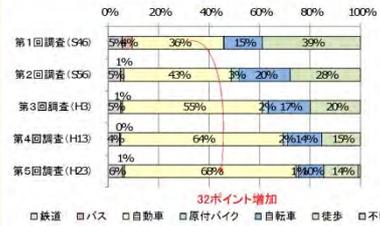
これまでの人口動向が今後も続くと仮定した場合、本市の人口は、平成22年以降減少を続けることが見込まれている。



(出典：国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計))

■人の動きの現状

外出するときの移動手段の利用割合は、昭和46年以降、「自動車」の占める割合は増加を続けているが、「自転車」、「徒歩」の割合は減少している。



32ポイント増加

□鉄道 □バス □自動車 □原付バイク □自転車 □徒歩 □不明

(資料：京都市圏パーセントトリップ調査)

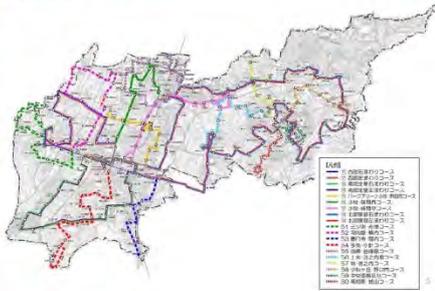
■小牧市内及び周辺の公共交通網の現状

・名鉄小牧線が市中央部を南北方向に縦断している。
・名鉄バス、ビーチバス、桃花台バスをはじめとする路線バスと近距離高速バスが運行されている。
・中央道桃花台バス停には、高速バスが停車する。



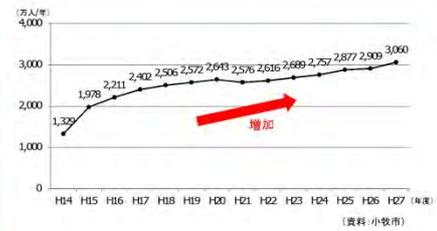
■小牧市内の公共交通網の現状

市内においては、各地域をこまき巡回バスが運行し、市内の移動ニーズに対応している。



■鉄道利用状況

・名鉄小牧線の乗降客数(大山駅から平安通駅までの合計)は年々増加しており、平成27年度には、年間約3,060万人となっている。



(資料：小牧市)

■小牧市内の公共交通網の現状

・こまき巡回バスは、平成27・28年の2箇年にわたる再編をおこない、路線数や車両数が増加し、運行頻度が改善された。
・また、路線再編により交通空白地域を経由する路線を運行したため、公共交通の徒歩圏人口カバー率は約99%となっている。

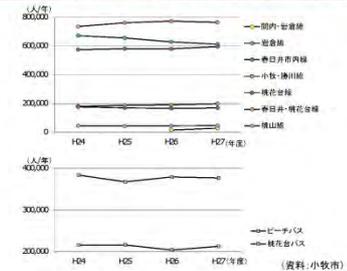
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
車両台数	8台	13台	18台
コース数	8コース	13コース	19コース
運賃	1日200円	1日200円	1日200円



鉄道駅から1km以内またはバス停から500m以内を公共交通の徒歩圏とした場合、公共交通の徒歩圏人口カバー率は約99%

■路線バス利用状況

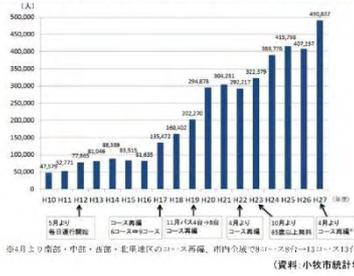
・路線バスの利用者数は、平成24～27年度にかけて、春日井市内線や春日井・桃花台線、小牧・勝川線で増加している。
・一方、岩倉線や桃花台線、ビーチバス等は、減少傾向にある。



(資料：小牧市)

こまき巡回バス利用状況

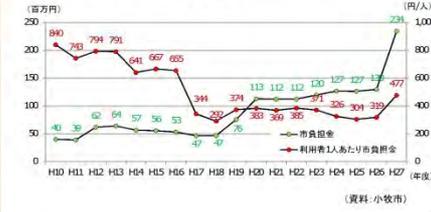
- こまき巡回バスの利用者は、増加傾向にあり、平成27年と平成28年の2箇年にわたる再編により利便性向上を図った結果、平成27年度は前年から約8万人程増加している。



※4月より南部・中部・西部・北東地区のコース再編、市内全域でコースが13コースに137
(資料:小牧市統計年報)

こまき巡回バスの運行負担金

- 平成10年度以降、サービス水準の向上により、運行に係る市負担金は増大し、平成27年度では年間約2.3億円となっている。
- 一方で、利用者が増加したことにより、利用者1人あたりの市負担金は運行当初と比べ減少している。



(資料:小牧市)

こまき巡回バス利用状況 (平成28年4~10月)

- 平成28年度のこまき巡回バスの路線別利用者は、全19コースのうち9コースにおいて、評価基準値を下回っている。

路線名	H28 4月~10月			評価基準値	達成率	H27 4月~10月	評価基準値	達成率
	乗車者数	評価基準値	達成率					
日中・夜間・朝晩コース	16,345	168.9	285.0%	59.6%	×	19,855	410.0%	—
日中・朝晩コース	16,812	168.9	285.0%	59.6%	×	19,845	410.0%	—
日中朝晩・夜間コース	29,802	276.4	268.0%	98.3%	×	27,795	272.0%	—
日中朝晩・夜間・朝晩コース	29,248	276.4	268.0%	98.3%	×	27,738	268.0%	—
日中・朝晩・夜間・朝晩コース	27,826	132.2	148.0%	104.5%	×	29,364	253.0%	—
日中・朝晩・夜間・朝晩・朝晩コース	4,971	52.6	100.0%	100.0%	○	7,992	41.0%	—
日中朝晩・朝晩コース	2,289	38.8	100.0%	100.0%	○	7,792	5.1%	—
日中朝晩・朝晩・朝晩コース	14,068	69.7	100.0%	100.0%	○	11,337	17.8%	—
日中朝晩・朝晩・朝晩・朝晩コース	8,200	38.8	100.0%	100.0%	○	8,772	22.0%	—
合計	190,706	731.2	100.0%	100.0%	○	190,930	8.7%	—

周辺市町におけるコミュニティバスの運行状況

- こまき巡回バスの利用者は周辺市町におけるコミュニティバスの利用者数よりも多くなっている。また運行負担金についても周辺市町よりも多い状況にある。

	年度	年間利用者数	市町負担額	利用者1人あたり市町負担額
小牧市	H27	490,837人	約2億3,000万円	約480円
春日井市	H27	303,536人	約1億3,600万円	約450円
大山市	H27	84,091人	約4,900万円	約590円
大口町	H27	123,920人	約3,800万円	約300円
北名古屋市	H27	186,877人	約5,800万円	約310円
豊山町	H27	79,589人	約2,200万円	約270円
一宮市	H27	248,488人	約7,400万円	約300円

(資料:愛知県内の市町村における自主運行バスの運行状況について)

市民アンケート調査結果

調査の目的

多様化する公共交通に対するニーズや、公共交通の確保・維持に関するあり方を検討する上で必要となる基礎的数値を把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とする。特に、市民の日常的な移動実態、公共交通非利用者が公共交通を利用可能となる条件、公共交通に期待する役割、公共交通の確保・維持のあり方に関する意向等を把握する。

調査の概要

調査対象: 15歳以上の市民
全配布数: 3,000通
全回収数: 1,255通 (回収率41.8%)
調査時期: 平成28年8~9月

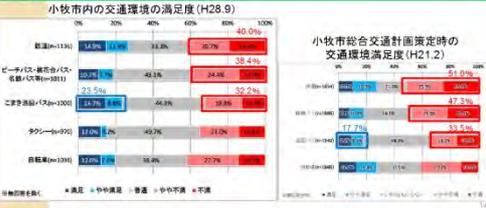
市民アンケート調査結果(今後の公共交通に期待する役割)

- 「名古屋へ行きやすいこと」が最も多く、次いで「車が利用できなくなった時に利用できること」が多くなっている。



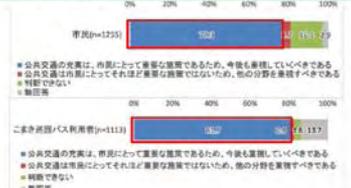
市民アンケート調査結果(小牧市内の交通環境の満足度)

- 小牧市総合交通計画で定めた施策の実施により、鉄道、ピーチバス・桃花台バス・名鉄バス(路線バス)、こまき巡回バスのいずれの交通手段も、小牧市総合交通計画策定時よりも満足度が減少しています。
- こまき巡回バスは、小牧市総合交通計画策定時よりも満足度が6ポイント増加しています。



市民アンケート調査・バス利用者アンケート調査結果 (公共交通に対する市の方向性について)

- 市民アンケートでは、「公共交通の充実、市民にとって重要な施策であるため、今後も重視していくべきである」が約77%を占めている。
- バス利用者アンケートでは、「公共交通の充実、市民にとって重要な施策であるため、今後も重視していくべきである」が約82%を占めている。



■市民アンケート調査・バス利用者アンケート調査結果
(こまき巡回バスの料金体系について)

- 市民アンケートでは、「現状の料金体系を維持し、市負担額はこれまでよい」が約47%を占めている。
- バス利用者アンケートでは、「現状の料金体系を維持し、市負担額はこれまでよい」が約52%を占めている。



■バス利用者アンケート調査結果(バスの満足度)

- ピーチバスは、「自宅から最寄りバス停までの距離」の満足度が高い。
- 桃花台バスは、「自宅から最寄りバス停までの距離」「降車バス停から目的地・施設までの距離」の満足度が高い。



■バス利用者アンケート調査結果

調査の目的
市内を運行する路線バス及びこまき巡回バスの満足度、重要度、改善点等の意向を把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

特に、バスサービスの項目別満足度、利便性向上に向けた改善事項等の詳細や、こまき巡回バスの確保・維持のあり方に関する意向を把握する。

調査の概要
調査対象：小牧市内を運行するバス路線
(ピーチバス・桃花台バス・名鉄バスの各路線及びこまき巡回バスの各コース)の調査期間における全利用者
全配布数：14,147通
全回収数：3,383通(回収率23.9%)
調査時期：平成28年9月

■バス利用者アンケート調査結果(バスの満足度)

- 名鉄バスは、「降車バス停から目的地・施設までの距離」の満足度が高い。
- こまき巡回バスは、「バスの運賃」「降車バス停から目的地・施設までの距離」「自宅から最寄りバス停までの距離」の満足度が高い。



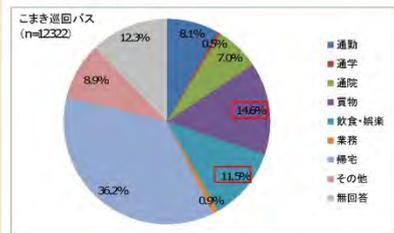
■バス利用者ヒアリング調査結果

調査の目的
市内を運行する路線バス利用者の乗降バス停と、こまき巡回バス利用者の乗降バス停、利用目的、利用頻度等を把握し、地域公共交通網形成計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

調査の概要
調査対象：小牧市内を運行するバス路線
(ピーチバス・桃花台バス・名鉄バスの各路線及びこまき巡回バスの各コース)の調査期間における全利用者
全配布数：路線バス・・・8,878票
こまき巡回バス・・・12,329票
調査時期：平成28年9月

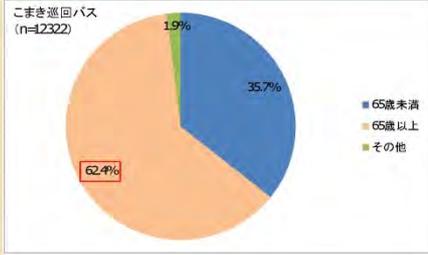
■バス利用者ヒアリング調査結果
(こまき巡回バス利用者の利用目的)

- こまき巡回バス全体では、「買物」目的の利用が最も多く(帰宅を除く)、約15%を占めている。次いで「飲食・娯楽」が多く、約12%を占めている。



■バス利用者ヒアリング調査結果
(こまき巡回バス利用者の年齢)

- こまき巡回バス全体では、「65歳以上」の利用が多く、約62%となっている。



■バス利用者ヒアリング調査結果
(こまき巡回バスのバス停間のつながり)

- こまき巡回バスのバス停間のつながりは、「小牧駅」や「小牧市役所前」と各地域を結ぶ利用が多くなっている。

